

## SBI、ブロックチェーン活用でカード業界と連携

2017年12月27日 0:00 [有料会員限定]

SBIホールディングスはカード業界と組み、複数の参加者が取引履歴を共有し認証しあうブロックチェーン技術などの活用に向けて連合体を発足する。ジェーシービー（JCB）や三井住友カード、クレディセゾンなどカード大手が参加する。本人確認や不正取引の共有・防止に技術を活用し、カード業界における業務効率化やコスト削減を目指す。

SBI傘下のSBIリップルアジアとJCBが中心となり、ブロックチェーンや人工知能（AI）などの先端技術の活用に向けて実証実験を進める。1月に連合体を設立し、まずはカード10社程度が参加する見通しだ。カード業界においては、本人確認や不正取引の共有・防止、カード会社による仮想通貨発行などでブロックチェーン技術の活用を見込む。

SBIリップルアジアは銀行60行以上が参加する連合体を立ち上げ、ブロックチェーン技術活用に向けて実証実験を行ってきた。今後は金融業界にとどまらず、技術を活用できる他業界やアジア地域にも連合体を広げていきたい考えだ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

**NIKKEI** No reproduction without permission.